

第5期第2回横浜市ユートピア青葉指定管理者選定委員会会議録

第2回 横浜市ユートピア青葉指定管理者選定委員会 会議録	
日時	令和8年8月6日（木）10時00分～11時25分
開催場所	青葉区役所 407会議室
出席者 （五十音順）	北島委員、佐々木委員、栃本委員、平山委員、矢追委員（計5名）
欠席者	なし
事務局	松本地域振興課長、豊倉地域振興課スポーツ・施設担当係長、今井職員、田中職員
開催形態	一部非公開（傍聴者1人）
議事	1 指定管理者応募書類及び面接審査（公開） 2 指定候補者の選定（非公開） 3 その他（非公開）
決定事項	横浜市ユートピア青葉の指定候補者に「社会福祉法人秀峰会」を選定し、時点候補者「該当なし」として、青葉区長に報告する。
審議内容	1 応募書類及び面接審査（応募団体プレゼンテーション・質疑応答）（公開） 欠格事項について事務局から「該当なし」と報告。 応募者財務状況の確認結果について財務専門委員から「審査対象から除く必要なし」と報告。応募団体は1団体のみで、プレゼンテーション及び質疑応答による審査を実施。 【質疑応答】 （委員）もえぎ野地域ケアプラザとの一体的運営を重視するとの説明があったが、地域課題の把握や解決に関する機能について、ケアプラザとの役割分担をどのように考えているか。 （応募者）地域ケアプラザと老人福祉センターでは利用対象者や施設機能が異なるため、それぞれの施設が独自に運営方針を検討する。一方で、地域ニーズの把握や課題解決に向けては必要な連携を図りながら運営していく。 （委員）もえぎ野地域ケアプラザとの情報共有において、個人情報の保護についてどのように対応する考えか。 （応募者）個人情報については厳格に取り扱う。施設間で全ての個人情報を共有することは想定しておらず、必要に応じて個人が特定されない形でニーズ等の情報を共有するなど、適切な運用を行っていく。 （委員）地域住民の交流促進や居場所づくりについて、地区センター等との連携をどのように進める考えか。 （応募者）近隣の地区センターとは日頃から連携可能な関係にあり、事業や情報共有などの面で協力していく。また、ユートピア青葉についても個人利用者が気軽に立ち寄れる環境づくりに努めていく。地域から寄せられる意見やニーズを運営に反映していこうと考えている。 （委員）高齢男性の社会参加や生きがいづくりについて、どのような取組を考えているか。 （応募者）囲碁、将棋、料理等、男性が参加しやすい講座や活動機会を提供する。まず、趣味活動を通じて参加を促し、その後、運営協力やボランティア活動へと段階的につなげることで、地域活動の担い手育成にも取り組むことを想定している。

	2 指定候補者、次点候補者の選定について（非公開） （事務局）評点について、集計したものを委員に提出。 <table><tr><td>順位</td><td>団体名</td><td>総合評価（点）</td></tr><tr><td>1</td><td>社会福祉法人秀峰会</td><td>384点</td></tr></table> (475点満点中) 【指定候補者に関する講評】 提案内容は全体として整理されており、法人の運営実績や専門人材のネットワークを活用した安定的な施設運営が期待できる。また、地域ケアプラザとの連携や地域ニーズを踏まえた事業展開についても積極的な姿勢が見られた。一方で、ケアプラザとの具体的な役割分担や連携方法、法人内の専門職の活用手法など、提案内容を実現するための具体的な運用については、今後さらに整理が必要である。 【総評】 地域ケアプラザとの連携を重視した提案は評価できる。今後は、老人福祉センターとしての役割や特色が利用者に分かりやすく伝わる運営に取り組むとともに、高齢化の進展や地域の地形特性を踏まえ、高齢者の移動のしやすさにも配慮した施設運営を期待したい。また、地域住民が気軽に立ち寄り交流できる居場所としての機能を大切にしながら、地域住民の交流促進や高齢者の居場所づくりを進め、地域ケアプラザや地区センター、地域関係団体、行政との連携を深めることで、地域に開かれた親しみやすい施設となることを期待する。 3 その他（非公開） 講評、総評に基づき、報告書を青葉区長に提出する。	順位	団体名	総合評価（点）	1	社会福祉法人秀峰会	384点
順位	団体名	総合評価（点）					
1	社会福祉法人秀峰会	384点					
資料	1 次第 2 第2回委員会について 3 評点表 4 応募書類一式 5 報告書（素案）						
特記事項	なし。						